

## 6. オートコンプリートとオートカルク

### 6.1 オートコンプリート(入力の補助)

#### 6.1.1 オートコンプリート

同じ列内に同じ読みから始まるデータがあれば、そのデータの一部が入力されれば、そのデータが表示される

図のように、[と]と入力すると、同じ列内の[東京都足立区]が表示される

このときEnterを押すと[東京都足立区]が確定する

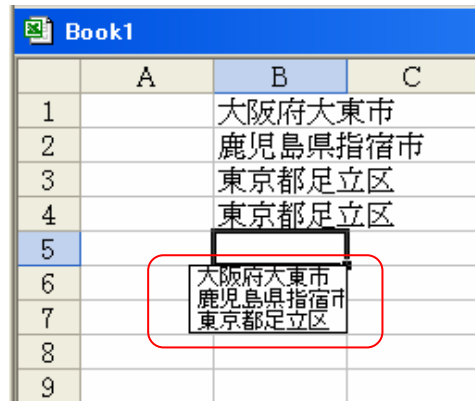
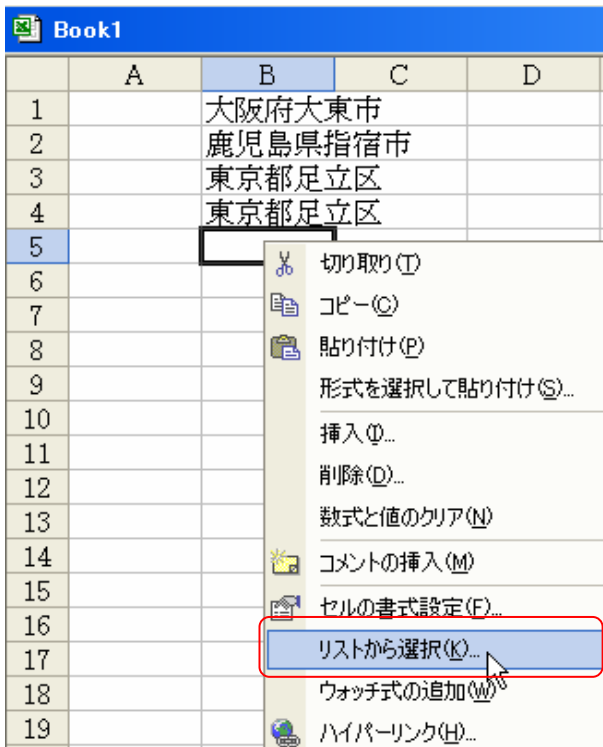
ただし、入力しようとしている文字が[東京都足立区]と異なる時、表示を無視して必要な入力をする

この機能がオートコンプリートです

	A	B	C	D
1				
2				
3		大阪府大東市		
4		鹿児島県指宿市		
5		東京都足立区		
6		と東京都足立区		
7				

尚、この機能は、列方向のみ有効で、行方向では無効です。また、数値、日付、等入力する場合は機能しない

#### 6.1.2 リストから選択の場合



入力セルを選択する  
 選択したセルの上で右クリック  
 出てきた画面で[リストから選択]  
 をクリック  
 リストから入力する文書を選ぶ

オートコンプリート機能がわずらわしい場合、メニューバーの[ツール] [オプション]のダイアログボックスから、編集タブを選ぶ

[オートコンプリートを使用する]のチェックマークをはずせば機能しなくなる  
 標準では、ONになっています。

尚、6.1.2のリストからの選択は、このチェックマークをはずしても使用可能です

## 6.2 オートカルク(集計の確認)

図のようにセル範囲を選択すると自動的に集計され、ステータスバー(画面一番下)に表示されます。

ステータスバー(図では[合計=15])上を右クリックすると選択した範囲の表示内容が選べる

